



最優秀賞を受賞した「栄養女子やさい弁当 BHV」

住之江区



懐石料理「徳」(住之江区東加賀屋3丁目)は、全国規模の弁当当総菜コンテスト

2部門で最優秀賞

懐石料理「徳」(住之江区東加賀屋3丁目)は、全国規模の弁当当総菜コンテスト「お弁当・お総菜大賞2016」のスイーツ、ヘルシー両部門で最優秀賞を受賞したと発表した。このうち、ヘルシー部門の「栄養女子やさい弁当 BHV」は地元相愛大学と共同開発した。

同コンテストはデリカテッセン・トレードショーが百貨店、スーパーマーケット、仕出し弁当店などを対象に企画。5万283件の応募があった。「BHV」は煮付けゴボウ、豆腐ハンバーグなど17種類200gを盛り込んだ。同社は「(相愛大側の)切磋琢磨の中から生み出された」としている。

スイーツ部門の「吉野葛を使った里山プリン」は同社が運営する奈良県のレストランで販売。奈良ブランドにこだわっているという。

(深田巧)

淀商高生と区役所連携 職員に学び、意見交換



職員を交えて福祉について活発に意見を

健康、開運 徳の弁当が掲載されました。

願い盛大に

四天王寺庚申堂で「初庚申」

にち
にち
写真館



天王寺区堀越町の和宗総本山四天王寺・庚申堂で今年最初の庚申まいり「初庚申」が盛大に執り行なわれ、境内は多くの参詣者で終日にぎわった。

庚申まいり(大阪市指定無形民俗文化財)は、えとの組み合わせで約2カ月ごとにめぐる「庚」「申」の日にちなんだ行事。日本の庚申信仰発祥の地で、本尊の青面金剛童子は徐災無病の靈験あらたかとして古くから信仰を集める。

今年の初庚申は7(宵庚申)、8(本庚申)の両日になされた。境内では初庚申恒例の「大般若転読」「柴灯大護摩供」が奉修され、人々が身体健全、厄除開運など所願

西淀川区

少子高齢化で福祉の仕事の重要性が高まる中、府内公立高校で唯一福祉に関する学科がある市立淀商業高(大西敏朗校長)の生徒と西淀川区役所の福祉課職員が連携した事業が行われている。区の形にちなんで「くじら食堂」と名付けて展開。生徒たちは職員らと意見交換しながら「福祉」についてじっくりと味わい、将来の活躍に向けた「糧」にしている。(佐々木誠)

メニューは「福祉」くじら食堂